

第 5 章	社会(歴史)	名前:		日 付	No.03
	平安				

[問題 1]

文中の()に適語を入れよ。

894 年、菅原道真の意見で(①)が廃止となり、大陸との交流が途絶え、生活や文化の日本化が進んだ。この時代の文化を(②)という。そのような中、漢字を変形した(③)が生まれた。(③)によって、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことができるようになり、国文学が発達した。紫式部の(④), 清少納言の(⑤), 紀貫之らが編集した(⑥)などのすぐれた文学作品が生まれた。

[解答欄]

①		②		③		④	
⑤		⑥					

[問題 2]

次の①, ②の書き出しで始まる文学作品名を書け。

- ① 今は昔、竹取の翁という者ありけり。野山にまじりて…
 ② 春はあけぼの。ようようしろくなりゆく山ぎわすこしあかりて…

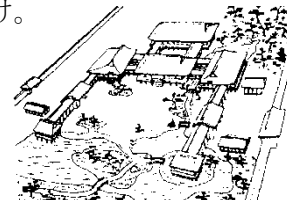
[解答欄]

①		②	
---	--	---	--

[問題 3]

右の図は、代表的な貴族の住居である。何造とよばれるものか書け。

[解答欄]



[問題 4]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の写真は、宇治にある「平等院鳳凰堂」である。
読み方を書け。
 (2) 平安時代の後半から流行した、阿弥陀仏にすがって
極楽浄土へ生まれ変わろうという信仰を何というか。



[解答欄]

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

[問題 5]

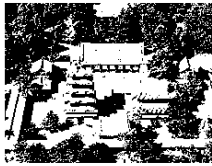
奥州藤原氏が建てた東北地方の平泉にある寺院を何といいますか。

[解答欄]

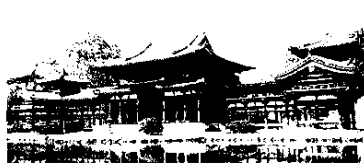
[問題 6]

A～C は何時代の文化を代表するものか、それぞれ時代名を書け。

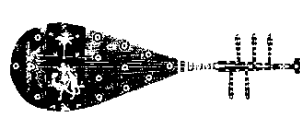
A 法隆寺



B 平等院鳳凰堂



C 琵琶



[解答欄]

A		B		C	
---	--	---	--	---	--

[問題 7]

文中の()に適語を入れよ。

白河天皇は、1086 年、天皇の位を 8 歳の子にゆずって(①)となり、院とよばれる御所に住んだ。

そして、院に移ったあとも政治を行った。(①)が動かす朝廷の政治を(②)という。白河(①)は、藤原氏をおさえて、思いのままに政治を行った。

[解答欄]

①		②	
---	--	---	--

[問題 8]

次の各問いに答えなさい。

(1) 右の年表のア、イに適語を入れなさい。

(2) 次の文は年表中の A、B のどちらとかが深いか。

A、B のいずれかの記号で答えなさい。

① 武士の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の対立からおこった。

② 天皇と上皇の対立と、藤原氏一族の権力争いからおこった。

年代	おもなできごと
1086 年	白河上皇が院政を始める
1156 年	(ア)の乱がおこる…A
1159 年	(イ)の乱がおこる…B
1167 年	平清盛が太政大臣となる

[解答欄]

(1)ア		イ		(2)①		②	
------	--	---	--	------	--	---	--

[問題 9]

次の各問いに答えよ。

(1) 白河天皇は上皇となったのちも政治を行った。これを何というか。

(2) 源氏をやぶって、武士としてはじめて太政大臣となった人物はだれか。

(3) (2)の人物が、政治の上で大きな力をふるうきっかけとなった 2 つの乱は何と何か。

(4) (2)の人物は、中国との貿易のためにどこの港を整備したか。

[解答欄]

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--